

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

奥多摩工業株式会社 福山工場

(2) 事業所の所在地

広島県福山市鋼管町1

(3) 業種

1622 無機顔料製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成__26__年度を基準年度とし、令和__5__年度から令和__9__年度までの__5__年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は環境に配慮した事業活動に努め地球温暖化について消費者のことも考慮しつつ温室効果ガスの排出に努めます

2.

- 1) 工場の省エネルギーの推進
- 2) 電力使用量の削減
- 3) 廃棄物の抑制、リサイクルの推進
- 4) 社員への環境教育
- 5) 生産工程の見直し・簡素化

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成 26（2014）年度	令和 4（2022）年度
二酸化炭素	5,500	4,997

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス { HFC PFC SF ₆ NF ₃ }		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 26 (2014) 年度)	削減目標		目標年度 (令和 9 (2027) 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂	5,500	11.5	634	4,866
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計	5,500	11.5	634	4,866
温室効果ガス みなし排出量		-		4,866
目標設定の考え方	フル生産ベタ止めで電力原単位を下げる			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産量(千t) 生産量(千

t)、削減率（%）

単位：排出量(t-CO₂)、原単位量（kg等）、削減率（%）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 26 (2014) 年度)		削減目標 削減率 (d)	目標年度 (令和 9 (2027) 年度)			
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)		排出 見込 量 (e)	原単位 見込 数値 (f)	原単位 見込 量 (g)	
エネルギー起源CO ₂	5,500	63	87.44	18.2	4,866	68	71.56
非エネルギー起源CO ₂				0.0			
メタン				0.0			
一酸化二窒素				0.0			
その他 温室効果ガス				0.0			
総排出量	5,500	63	87.44	18.2	4,866	68	71.56
(原油換算kI) エネルギー 消費原単位	-	-	39.70	6.6	-	-	37.10
目標設定の考え方	反応ガス設備の見直し・回復により生産効率を上げ原単位削減に取り組む 反応ガス設備の見直し・回復により生産効率を上げ原単位削減に取り組む						

※ 削減率(d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置及び目標並びに具体的な取組

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	エネルギー使用量の削減	エネルギー原単位1%削減	生産設備の効率的な運用 エアコンプレッサーの運転負荷軽減 高効率モーターへの更新
2	電気使用量の削減	電気使用量を1%削減	製造工程の見直し・設備の簡略化 冷暖房温度の適正管理
3			
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

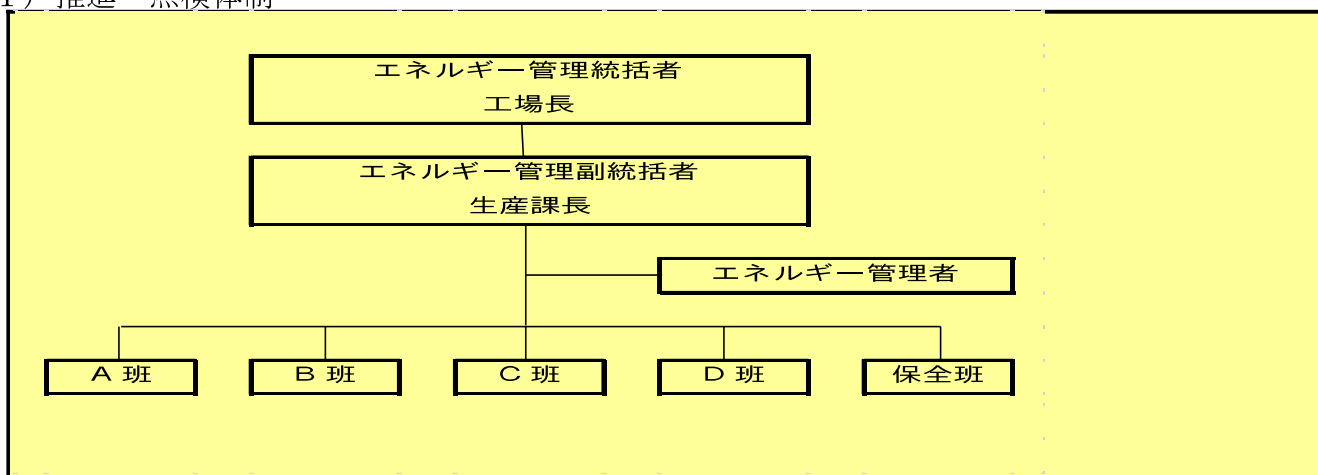
○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

1回/月に開催される品質・環境会議にて実施状況の結果と評価を行う
資料は全員にメール配布を行う

(3) 計画書等の公表

事業所に備え付けて閲覧する